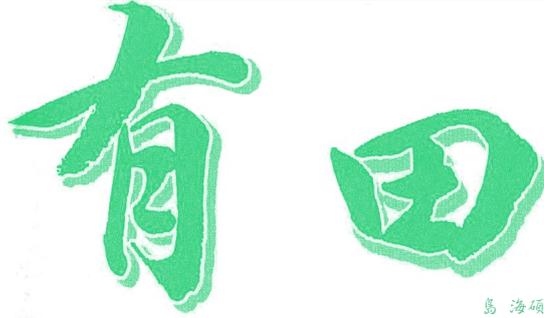


No.2848

2017-2018年度  
会長 成川 守彦  
幹事 橋本 拓也  
R広報委員長 應地 正章  
担当：松村委員



島海碩書

第2640地区
例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創立 昭和34年6月15日
ホームページ <a href="http://www.aridarc.jp">http://www.aridarc.jp</a>
e-mail <a href="mailto:office@aridarc.jp">office@aridarc.jp</a>

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか



本日のプログラム

平成29年10月26日 第2849回

- ・外部卓話：御前 明良 氏「上山英一郎氏の先見性と功績 —除虫菊栽培の創始と蚊取り線香の発明—」
- ・ソング：「It's a small world」

前回の報告（第2848回例会）

開催日 平成29年10月19日(木)

点 鐘 (成川(守)会長)

新会員入会式

＜橋本拓也君より原 敬 さんの紹介＞

新しく入会された原敬さんをご紹介します。

原さんは、昭和38年生まれで54歳、JXTGエネルギー株式会社和歌山製油所所長です。職業分類は石油精製です。昭和63年3月に早稲田大学理工学部応用化学科修士課程を修了され、東亜燃料工業株式会社に入社されました。本社をはじめ和歌山工場、川崎工場、堺工場の技術系の主だった部署をほとんど歴任され、今年3月に和歌山製油所の所長として赴任してこられました。30代の後半は海外留学され、米国のマサチューセッツ工科大学の修士課程を修了されています。

私は、原さんとは、20年ほど前の平成8年ごろ原さんがチェンジプロジェクトチームの時代に私も同じような仕事をしており、正月休み無しで川崎クラブで合宿した時など、川崎駅の周辺で一緒に飲み屋に行ったのを覚えています。それ以来親しくさせていただいています。原さんはスポーツが万能でテニスにゴルフ、マラソンもフルマラソンに参加されるようです。そのバイタリティでロータリーでもご活躍されることと思います。

推薦者は、脇村さんと私です。よろしくお願いいたします。



2017-2018年度クラブ方針

ロータリーを知ろう

～温故知新～

次回のお知らせ

平成29年11月9日 第2850回

- ・会員卓話：酒井隆正君「ロータリー財団について」
- 中元耕一郎君「ミャンマー国際奉仕事業について」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」



＜成川(守)会長よりエンブレムの贈呈＞



成川(守)会長より、原君へロータリーのエンブレムが装着されました。

＜会長歓迎の言葉＞

本日、入会されました原君、入会！おめでとうございます。会員一同、首を長くしてお待ちしていました。

ロータリーのエンブレムを持っている人は、信頼できる人です。

ロータリーは、参加することから、始まります。お忙しいと思いますが、例会をはじめいろんな活動にぜひ参加してください。よろしくお願い申し上げます。

会員の皆様、今日、原さんをお迎えし、今日から会員は32名となります。今年度の目標は33名です。あと一人です。よろしくお願い申し上げます。

今月の誕生・結婚祝

(上野山(捷)親睦活動委員長)

会員誕生：川口君、江川君、成川(守)君、嶋田(崇)君

配偶者誕生：石垣亜利子さん、児嶋純子さん

宮井清子さん

結婚記念：石垣(洋)君、岩橋君、成戸君、嶋田(ひ)君

上野山(英)君



10月のお誕生日  
(左から)川口君、嶋田(崇)君、成川(守)君です。

**お誕生日おめでとうございます**  
**<お誕生日に一言>**

川口君：10月28日で44才になります。有田RCでは最年少ですが副SAAも頑張っています。ありがとうございました。

成川(守)君：元気に76歳の誕生日を迎えられそうです(10月30日)。あと8ヶ月余、よろしく願いいたします。

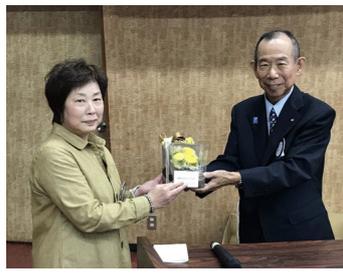
嶋田(崇)君：64才になりました。ハッパ64と言います。自分にハッパをかけて更に頑張りたいと思います。

**ご結婚記念日おめでとうございます**  
**<結婚記念日に一言>**

岩橋君：ありがとうございます。結婚記念日は10月9日なのですが、何年目か忘れてしまいました。終活で頭がいっぱいです。

嶋田(ひ)君：(ご結婚43年目)私がいつも思う事、同じ仕事場で一日ずっと働き、長さは2倍だと思っています。

上野山(英)君：(ご結婚46年目)いよいよ老々介護の日が近づいてきました。家内には元気でいて欲しいと思います。



**ニコニコ箱の報告** (川口副SAA)

成川(守)君：会員の皆様、IDMの出席ありがとうございました。

橋本君：原さん、ご入会おめでとうございます。本日のIDM発表、よろしくお願い致します。

脇村君：井上さん、橋爪(誠)さん、IDMの発表、よろしくお願い致します。原君、入会おめでとうございます。

石垣(泰)君：10月17日、和歌山RCでメーキャップさせていただきました。

松村君：昨日、ゴルフコンペで優勝しました。優しく教えてくれる人、厳しく鍛えてくれる人に感謝です。

井上君：本日、IDMの発表をさせて頂くということで、スーツを新調しました。というのは建前で昨年まで着れたスーツが入りませんでした。

嶋田(崇)君：IDMの発表、各リーダーさん、ご苦労さまです。

上野山(栄)君：IDMの発表、橋爪誠治君、井上君、がんばってください。台風が心配ですが、21日(土)フューネラル有浄会館の15周年感謝イベントを行います。50インチのテレビなど当たりますので、ご興味のある方はおこし下さい。

児島君：本日発表の皆様、ご苦労さまです。

橋爪(誠)君：本日、前期IDM発表させていただきます。よろしく願いいたします。

酒井君：IDMの意見交換、おつかれ様でした。リーダーのみなさま、発表よろしく願います。

上野山(捷)君：IDMの皆様、発表御苦労さまです。

岩本君：お陰様で、四社の秋祭、無事ご奉仕を終えることができました。

嶋田(ひ)君：急に気温が下がっていますが、皆様体には十分気をつけて下さい！

菅原君：原様、御入会おめでとうございます。

木本君：原様、御入会おめでとうございます。

カラオケ参加一同：カラオケ、楽しかったです。

中元君：本日のIDMの発表、よろしくお願い致します。

川口君：本日の前期IDMの発表、宜しく願い致します。前回のお月見例会楽しかったです。ありがとうございました。

**出席報告** (橋爪(正)例会運営委員)

本日の会員数32名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数26名

(出席規定免除会員8名)

83. 87%

9/28 87. 10%

MU: 石垣(泰)君

**会長の時間** (成川(守)会長)

まず、先程「ノンアルコールワイン」で乾杯しましたが、あのワイングラスは、「紙コップよりワイングラスで飲む方が美味しいだろう」ということで、石垣泰伸君が持参してくれました。ありがとうございます。

5日のお月見夜間例会では、会場設営関係の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。ススキ、お月見団子、そして「フルムーンのお月様」！お陰様で、たいへん趣きのある素晴らしい例会になりました。FBの投稿に44,000回「いいね！」の反響がありました。凄いですね。親睦委員会の皆様、ありがとうございました。

又、先週は、2組に分かれてのIDMにご参加、ありがとうございました。今日はその報告をよろしくお願い致します。

さて、皆様、「米山梅吉記念館」をご存知ですか？ 9月16日、新幹線の三島駅の近くにある「米山梅吉記念館」の理事会と「秋季例祭」に出席しました。「米山梅吉記念館」の所在地は、静岡県駿東郡(すんとうぐん)長泉町です。

「公益財団法人 米山梅吉記念館」は日本ロータリーの父と仰がれている米山梅吉氏の自宅のあった静岡県・三島にあり、(公財)ロータリー米山記念奨学会とは別組織であります。ロータリアンと第2620地区(静岡・山梨)による寄付金によって運営されておりますが、その半額が流動的寄付金であり、安定した事業資金の確保が喫緊の課題です。

私は、1999年ガバナーに就任した際とその後も2回訪問しています。特別寄付もしています。今年度から理事に選出されました。当2640地区の前任理事は大澤PDGでした。

### 公益財団法人 米山梅吉記念館

『公益財団法人 米山梅吉記念館』は昭和44年3月26日、財団法人として設立され、平成23(2011)年 公益財団法人に改組され、平成10(1998)年 新館竣工(現 記念館)致しました。

日本最初の東京ロータリークラブ創設者 米山梅吉を記念するとともに、日本のロータリー文献を備え、かつ生涯身をもっての奉仕活動、社会貢献した遺徳を偲び、その偉業を顕彰し、根幹にあるロータリー精神の普及を図ることを目的としています。

来館者は、年間3,600余名で、120余クラブが来館。全国各地から米山奨学生・奨学委員会の受入・研修および全国からのクラブ移動例会、個人的ご来館等です。事業活動資金は、年間支出およそ1,500万円(減価償却費除く)。

事業活動収入(全て寄付金・主なるもの)

・固定的寄附 700余万円(全支出の47%)

2620地区450万円(記念館所在地区) 米山奨学会200万円(奨学生研修費補助)

東京RC10万円(100円募金)2780・2590地区50万円(神奈川・人頭)等

・流動的寄附 650余万円(全支出の43%)

個人的には、全国一人100円募金200万円(有田RCも支援しています。)賛助会員会費(1口3000円)200万円。移動例会・来館者等スマイル等160万円。2620地区内クラブの周年事業等特別寄附90万円等。

今年度、役員改選が行われました。理事は、2620地区から6名、東京RC:1名、米山記念奨学会:2名、2580地区(東京・沖縄)、2590地区(神奈川東部)、2640地区(大阪南部・和歌山)、2710地区(広島・山口)、2780(神奈川西部)からはそれぞれ1名、長泉町長の計15名です。監事3名は 2620地区から、評議員は20名で、14名は2620地区から、2590(神奈川東部)、2640(大阪南部・和歌山)、2750(東京・北マリアナ・グアム)、2830(青森)からそれぞれ1名と沼津市教育長、長泉町教育長。

例祭 春季(4月)・秋季(9月)年2回例祭開催。全国から120~150名が集う。

皆様も、近くを訪れる機会があれば、是非お立ち寄りいただきしたいと思います。

米山梅吉記念館は、平成31(2019)年は 記念館設立50周年を迎えます。

### <米山梅吉 そのロータリーとのかかわり>

(米山記念館HPより)

日本に初めてロータリークラブ「東京ロータリークラブ」が生まれたのは、大正9年(1920)10月20日のことです。日本にロータリークラブが生まれるについて、米山梅吉と三井物産の福島喜三次との米国ダラスでの数奇な出会いがきっかけでありました。

福島喜三次は、佐賀県有田の出身で、三井物産に入社しダラスで勤務しました。福島は、大正6年(1917)の秋に、ダラス・ロータリークラブの会員となりました。

米山は、大正6年(1917)9月13日、政府特派財政経済委員に任命され米国に向かい、この使節一行の日程の中で大正7年(1918)元旦、福島喜三次に会いました。

福島は、大正9年1月帰国。帰国に際し、大正9年(1920)2月28日付で、シカゴのロータリークラブ国際連合会から東京にロータリークラブを作るべく、特別代表を委嘱される。福島は米山にその実質的な権限を託する。

米山は、大正9年8月、自らが選定した18名を集めて、ロータリー創設の説明をする。9月1日には設立準備委員会を開き、10月20日、東京銀行集会所で創立総会を開いた。このとき出席したのは24名(ロータリー広報委員会注釈:チャーターメンバー)中14名である。ここで、米山は、東京ロータリークラブ初代会長に選任される。福島は、幹事となり、ここに日本におけるロータリークラブ第1号、東京ロータリークラブが誕生した。

米山は、メンバーを選ぶについて、高い基準を設けた。いわば国家的な人物、国際的な視野を有する人物というのが選考の基準であった。このような考え方は、大阪ロータリークラブにもそして、その後のロータリークラブへと受け継がれた。国際的な視野ということからすれば、英語ができることが前提であった。

### 公益財団法人米山梅吉記念館定款

#### 第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、日本ロータリーの創設者である米山梅吉を記念するとともに、社会奉仕、国際親善に人生を捧げた米山梅吉の思想を普及し、もってより良い社会の形成の推進、健全な地域社会の発展、青少年の健全な育成及び国際相互理解の促進に寄与する事業を行うことを目的とする。

### 幹事報告 (橋本幹事)

1. ガバナーエレクト事務所より、ガバナーエレクト年度主要会議の予定の連絡が来ています。上野山(栄)会長エレクトに連絡しました。
2. 10月4日地区補助金(ミャンマー事業)の振り込みが行われました。
3. 地区より、クラブ情報規定委員長会議の案内が来て

います。12月10日(日) 於)ルミエール華月殿 脇村情報規定委員長が参加する予定です。

4. ガバナーエレクト事務所開設の案内が届いています。
5. 地区より、地区大会に関する連絡と確認のお願いが届いています。連続出席40年以上、在籍45年以上80歳以上が対象となり、当クラブから申請していた3名は外れました。
6. ハイライトよねやまVol. 211が届いています。
7. 地区より、地区大会選挙人会議召集通知が届きました。成川会長が出席します。
8. ガバナーエレクトより2018-19年度の地区研修委員会委員として上野山(英)さんの出向のお願いが届いています。
9. ガバナー事務所より、福井直前ガバナーの依頼による文書が届いています。9/19ワールド大阪ロータリーEクラブの「2016-17年度の決算書の不可解な疑問点指摘」についての回答です。
10. ワールド大阪ロータリーEクラブから、全クラブ会長へ「2016-17年度の決算書の不可解な疑問点指摘に対する不誠実な回答書」が届いています。
11. 地区より、2016-17年度青少年交換帰国報告書が届いています。後ろの白板への掲示、および井上社会青少年奉仕委員長に渡します。
12. 地区より、地区大会におけるクラブ活動報告の件について、当クラブで提出していた「有田川クリーン作戦」が残念ですが落選しました。
13. 河内長野高野街道RCから、例会場変更のお知らせが届いています。
14. 岩出RCから週報が届いています。掲示板に掲示しています。
15. 本日、月見例会の会費と地区大会の参加費の徴収をしています。
16. 他クラブから例会変更のお知らせが届いています。
17. 来週例会終了後に臨時理事会を開催します。

## ロータリー友誌 (松村委員)

### ロータリーの友誌10月号

#### ○横組み

※P3会長メッセージ「ポリオ撲滅にご協力ください」そして、10月24日の世界ポリオデーではみんなで変化をもたらしましょう。

※P7~13ロータリー米山記念奨学会財団設立50周年と特集 米山月間

※P17特集 ようこそ、日本へ「たま電車に4カ国語の図書を寄贈」(和歌山東南RC)

#### ○縦組み

※P4「難民問題 今、何が起きているか」 難民は生まれながらにして難民だったわけではないから書き始めこの問題について述べられています。

※P16友愛の広場 「韓国・南釜山RCとの50年を振り返って」和歌山RC中島章雄氏

※P26 ロータリーアットワーク 「桜植樹から広がる地域振興と環境美化」有田RCの「有田みかん海道の桜木の手入れ」が掲載されました。

## 委員会報告

\*R財団委員会(酒井委員長)

上野山(栄)君より、特別寄付をいただきました。

\*米山記念奨学会委員会(松村委員長)

上野山(栄)君より、特別寄付をいただきました。

## 前期IDMの発表

テーマ:

「10年後、20年後のロータリーはどうあるべきか」

### 第1班

平成29年10月12日(木) 18時30分~ 於)橘家

参加者: 井上修平(リーダー)、中元耕一郎(サブリーダー)、中村吉伸(情報研修)、児島良宗(情報研修)、宮井清明、川口健太郎、岩橋行伸、上野山捷身、上野山栄作、橋爪正芳、菅原佳典、上野山英樹、橋本拓也、木本隆明



第1班リーダー  
井上 修平 君

### <各出席者からの意見のまとめ>

- ・現状のままで良いのではないかと。会員増強も必要だが、会員が増えれば良いクラブになるとは限らない。10年後、20年後には、古き良き時代のロータリーが復活してほしい。
- ・全般的は、例会に参加するのが楽しくなるようなクラブ、会員が育つクラブ、人生の中で勉強になるクラブ、会員同士が信頼し親しみを持って接しあえるクラブが理想である。会員組織的に考えると、会員数のバランス、女性会員のバランス、年齢のバランスがうまく調和しているクラブがいいと思う。また、多様な職種の人が入会してくれれば嬉しい。また、今後若い会員が会長・幹事となる順番が回ってくるが、ある程度の経験を踏まえた後、それらの職務を遂行できるような余裕とバランスのとれたクラブが適切ではないかと思っている。そして、新入会員に対し、ロータリーとは何かとはっきり説明できる適切な教育システムを持ったクラブであってほしい。委員会に関しては、今はみんな忙しくて十分に時間がとれていないが、ロータリーの活動に関してみんなで意見を出し合い、議論しながらその活動を進められるクラブであってほしい。このクラブはロータリーに造詣が深い人が多く、ロータリーに関していろいろなアドバイスを受けることができる環境にあって非常に良いクラブだと思うが、今後もそれを継続できるようなクラブであってほしい。
- ・10年後、20年後のことは自分にとってあまりにも長いこと

なので、5年後、10年後のことを考えて意見を述べさせてもらおう。RIの定款細則に沿ったクラブ活動の順守を言われているが、日本ロータリーは今まで通り日本独自のロータリーで良いのではないかと思う。5年後、10年後にはもう少し会員数が多い方がゆとりが出来て良いのではないか。具体的には会員数として40人(内女性会員が10名)を10年後に目標とする。新入会員に関しては、入会前にも入会した後にもいろんな要望がきけるクラブであってほしい。また、出席規定免除者に準じて、後期高齢者クラスを作ってもらいロータリーをさらに長く続けていけるようなクラブ環境を考えて頂ければとも考えている。

- 元気でロータリーに参加できることが一番と思っている。入会者にはロータリー的な人を選ぶことも重要だが、そうでない人が入会してもロータリー的な人になってもらえるような努力が大事と昔先輩から聞いたことがあるし、自分もそう思う。また以前、外部卓話者がお話してくれたが、はがき1枚買うのでも地元で買うような地元を大事にするようなロータリアンであってほしいと願う。
- 10年後、20年後は予測できない。職業奉仕を基本とするクラブであってほしい。ロータリーは自己修練の場であり、そのつもりで今もやっている。10年後、20年後には現在の職業が30から50なくなり、また新しい職種も今後出現してくるだろうし、はたして、ロータリーは今後どうなるのか、その予測は私にはできない。また現在、ロータリーはポリオに取り組んでいるし、今年度は環境問題をテーマとしている。現在世界の人口は70億人を突破し、今後ロータリーは食料問題に取り組むのではないかと考えている。
- 今のところ例会に出席するのが精一杯な状態である。10年後、20年後も元気でロータリーに参加し勉強して行きたいのでよろしく願います。
- 2016年の改定でずいぶんロータリーの規則が変わった。若い人たちが議論して何を残して、何を变えて行くのか、時代が変わってきているので、若い人たちが遠慮せず意見を述べて頂きたい。規則が変わったとは言え、その裁量権はクラブにあるので、このことを考えながら10年後、20年後のことを考えてほしい。
- 40年前東京の友人がロータリークラブに入会させてもらったと聞いた。その友人が銀行にお金を借りに行ったとき、会社名だけでは貸してくれなかった。ロータリーの肩書を添えると貸してくれたそうだ。その当時、ロータリーに入会させてもらうのは何年も待たなければならず、すごく敷居の高い組織だと感じた。それから10年後自分が入会する時には、ある会員からの紹介で少しも待たず、スッと入会できた。敷居がぐっと下がった感じがした。最近ではEクラブも出てきて、さらに敷居がさがり、20年後には同好会になってしまうのではないかと憂いている。入会金が下がるには反対である。ある程度のプライドが保てる会であってほしい。
- 最近、あまりロータリーが変化していないような気がする。昔はデレノ交換留学生事業があったり、ロータクトがあったが、最近ではむしろ活動が減少してきているのではないか。この一番の理由は会員減少ではないだろうか。会員が増えれば資金も増える。資金が増えれば

活動もできる。そして、ロータリーを外部の人に知ってもらうには地域のニーズにあった事業をすることが重要と考える。

- 入会前、ロータリーを外から見ているが、ロータリークラブがそんなに凄いとこころという印象はなかった。また、有田に3つもロータリークラブが存在する必要があるのか？人口減少にともない今後会員数が増える可能性が低いと、有田3クラブが一つになって、もっと強いクラブを作ってはどうか。入会してまだ間がないので、自分にはロータリーの価値がわからないし、どんな効果があるのかわからないので、入会を他の人に勧めようと思うが、その点がとても悩ましい。今後勉強して行きたい。
- 入会して2週間なので、まだ何もわからない状態である。自分は外から見たロータリーしか知らない。ロータリーは自分としては奉仕団体であるという印象しかない。入った限りは10年、20年後も続けられるクラブであってほしい。先輩方もいつまでもお元気で出席して頂き、アドバイスを受けながら勉強していきたい。
- 仕事が非常に多忙になってきている会員が増えてきているし、今後もっと増える可能性がある。そのような多忙な人がクラブを運営する側(会長、幹事)になる場合を考えると、あまり執行部に負担のかからないクラブ運営ができる方法を検討していくべきだと思う。また、楽しいロータリーライフであってほしいとも思う。そのためにはモチベーションとなるものが大切。自分の場合には地域の課題を解決できるような布石を打てるような、成果・結果重視の活動ができるクラブであってほしい。自分が入会させてもらってからは、有田RCは例会重視のクラブだと思っている。確かに例会は大事だと思うが、委員会、奉仕活動等バランスのとれたクラブ活動であったほうが良いと思うし、その方がさらに親睦が深まると思う。急には無理だが、徐々にそれらの点を改善していく余地があるのではないかと自分は思う。
- 10年後も20年後も、親睦と奉仕が基本の現在のロータリーの形をできるだけ維持してほしい。RIはITを使った例会運営を推奨しているが、コンピューターやスマートフォンでは親睦を形成することは不可能だと思う。定期的に顔をあわせることが重要で、ともに勉強し、ともに食事をし、ともに奉仕活動をすることで会員間の親睦が図れるのではないか。親睦と奉仕のどちらか一方でも無くなれば、それはロータリーではなくなる。しかし、将来的な人口減少、また、AIなどの革新的技術開発により、今後は現在ある職業数もかなりの数が少なくなり、それらに伴う会員減少も避けられないことも事実である。そうなった場合にはITなどの導入も致し方ないかもしれないが、例会数を少し減らすなどの方法で、10年後、20年後もできるだけ現在の我々のロータリーの形を維持してほしい。
- ロータリー自体は非常に立派な会だと思うが、一般の人にはその良い点をはたして認知されているのかどうか不安である。奉仕活動はどれも素晴らしいものであるから、内々からでも、今日はこんなロータリーの活動をしたとか家庭の会話の中でも話題に取り上げてほしい。そういった口コミでもロータリーのことを外部の人に

知らせる努力が大事だと思う。そういった地道な取り組みが、新会員入会に繋がる可能性があると思う。例会の1時間だけではなく、例会の前とか、例会が終わってからの会員との会話が自分にとって非常に意味があり、特に大先輩から頂く一言が心に響き入会して本当に良かったなと思っている。10年後もこういう経験ができるクラブであればいいと思います。

参加メンバーの3分の1が入会3年未満でしたので、IDMとは何か？説明していただきました。又、少し時間が残ったので例会出席は大変じゃないですか？と質問したら、時間は作るものです。という回答でした。ここまで丁度一時間でした。その後、別室で食事となり上野山英樹さんの乾杯でみなさん歓談しました。1時間後に次年度会長の栄作さんにしめていただきました。内容は「私はIDMの後の食事が一番好きです。なぜなら先輩方に過去のロータリーの話が聞けるからです。」との事でした。

## 第2班

平成29年10月13日(金) 18時30分～ 於)橘家  
出席者：橋爪 誠治(リーダー)、嶋田ひで(サブリーダー)、脇村重徳(情報研修)、成川守彦、石垣洋介、岩本道弘、嶋田崇、成川雅史、松村秀一、酒井隆正、成戸文子、石垣泰伸、丸山芳孝、田端正巳



第2班リーダー  
橋爪 誠治 君

### <出席者の意見のまとめ>

- ・これからも長い期間、会員としていただける会であって欲しい。
- ・新会員が出来るだけ早く会をリードできるようになって欲しい。
- ・ロータリーは特殊な人が集まるクラブと思われているようだが、もっとロータリーの活動を地域社会に理解してもらえる努力が必要だろう。
- ・10年後は、もっと便利ツール(パソコン・インターネット等)をフル活用してクラブ運営が行われていると思う。
- ・日本において、ロータリアンは職業奉仕を重んじる傾向があるが、10年後・20年後はボランティア活動重視の考えに変化していこう。
- ・地域社会に向けてロータリーへのイメージを高める努力をすることで、10年後のロータリーのイメージにつながっていくだろう。
- ・会員相互の交流が必要である。クラブ内での情報共有を徹底してほしい。

- ・人口減少に伴い会員数も減少していくため、有田3クラブの合併も今後考えなければいけない時がくるかもしれない。
- ・ロータリーを突き動かす原動力は、「人・活動力(資金)・知識力(情報)」のため、どうしても会員数が不可欠になる。
- ・若いメンバーが必要だろう。
- ・出席するのが楽しいクラブであってほしい。
- ・夜間例会を増やしてほしい。
- ・職業によっては、お昼の出席が難しいとか、繁忙期があると丸々ひと月出席が難しい時がある。
- ・例会の回数を少なくしてもらおうと、月単位で仕事の調整を行い、欠席を少なくする努力が出来ると思う。

### <まとめ>

色々未来を見据えた沢山の意見を頂きました。今回のテーマに謳われた「10年後、20年後のロータリーはどうあるべきか」の答えは、意見を述べ合い相互理解を深め、変化に対応していけるクラブこそが、地域に必要とされるクラブであると感じました。

IDMで意見を語らい、クラブ全体で皆様の意見を共有しあい、会員にとってより良いクラブ運営をすることが、今後のクラブの成長と活性化につながると思いました。

10年後、20年後も会員が集うパワーが漲るクラブであってほしいと願います。

閉会・点鐘 (成川(守)会長)



次週11月2日(木)は  
休会です。



日程	11月の例会プログラム
11/2 (木)	休会
11/9 (木)	会員卓話：酒井 隆正 君 「ロータリー財団について」 会員卓話：中元 耕一郎 君 「ミャンマー国際奉仕事業について」
11/16 (木)	会員卓話 児島 良宗 君 「私の考えるロータリー『平和』」
11/23 (木)祝	休会
11/30 (木)	外部卓話：永田 雄治 氏 (陸前高田RC) 「未定」(ポリオNIDsについてのお話)